



ぶく 福ちゃん 社協報



ポッチャで
つながる
多世代交流

... 目次 ...

- 2P ▶ 支え合いまちづくりレポート
- 3P ▶ さまざまな交流の紹介
- 4P ▶ 令和5年度事業計画・予算
- 5P ▶ 社協会費のお願い
日本赤十字社から学ぶ防災ミニクイズ
日赤活動資金の募集
- 6P ▶ わたしのチャレンジ (新コーナー)
共同募金配分金事業の募集
しょうぶ提供のお願い

表紙：ポッチャ体験会 (内容は3ページ参照)

＼ 小布施らしく ／

みんなで支え合う 移動・外出支援

視察研修 報告

有志メンバー7名と旭ヶ丘地区に
行ってきました！



SC 伊藤

小布施町
支え合いまちづくり
レポート Vol.28

移動・外出支援について学ぶ中で、須坂市の“旭ヶ丘地区生活たすけ合いの会”の取組みが全国で報告されていることを知り、3月14日に有志で視察研修に行ってきました。

生活たすけ合いの会では、電球の交換、コタツの用意や話し相手などの暮らしに関する困りごとへの支援を行っており、その中に通院や買い物などの“**移動**”を含めた**支援活動**も組み込まれています。

現在、事業対象者、要支援1・2の方が対象で通院に関する利用が多いというお話や、使っている車や保険について、タクシーとの共存、利用者と支援者のマッチング方法についてなど、小布施町の参加者からは「気になること」「知りたいこと」の質問がいくつも出され、活発な情報交換ができました。

参加者からは…

実際に活動
している方の話は
説得力がある

携帯電話やLINEを
使った連絡調整法は
参考になった

お話を参考に
“小布施らしい”
活動を進めたい

研修、そして
活動創出へ



今年度“小布施らしい”移動・外出支援に
向けて前進中！
進捗状況を随時報告していきます。

地域の担い手はぐくみ講座映画上映会

『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえり おかあさん～』

3月17日、18日にドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえり おかあさん～』の上映会を開催しました。今回の映画のテーマは“認知症と看取り”。

「認知症になったら、何もわからなくなって忘れてしまう」と思いがちですが、認知症になっても大切な人のことや住み慣れた家など、覚えていることや感じる気持ちは残っているのだということに改めて気付かされた映画でした。

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。小布施町も高齢化が進んでおり、“自分”が“家族”がいつ認知症に、または介護が必要になるかわからないからこそ、認知症を自分事として学ぶ機会が大切だと感じます。

SC 戸井田

ご参加ありがとう
ございました

感想

- ・自分がいずれ通る道かもしれない
 - ・これからは地域で支えていくことが必要な時代
 - ・周囲の人との関わりが大切だと思った
 - ・認知症になっても自宅はいいね
- など…



【支え合い、助け合いで暮らしを安心・豊かに！】

社協では、認知症の方やその家族との関わり、支援・サポートをしてくださる方を募集しています。
関心のある方は、小布施町社協までご連絡ください。

コロナ禍を乗り越えて… 交流の花が咲き始めました

ポッチャ体験会

主 催：小布施町身体障害者福祉協会 & 小布施町社協
講 師：長野県ポッチャ協会

3月25日、千年樹の里健康福祉センターでポッチャ体験会を開催しました。4歳～90歳の計53名が参加。子どもから高齢者、障がいのある方まで一緒に、白熱したゲームが行われました。



ドキドキ…
どちらが勝ちかな？



参加者の声

「講師のレクチャーでよい投球ができるようになった」
「学校のクラブや部活でポッチャをやりたい」
「後日、一緒にのチームだった人から声をかけてもらい、嬉しかった」
「町民のみなさんにポッチャを知ってもらえる活動をしていきたい」

園児との交流

場 所：町デイサービスセンター
園 児：栗ガ丘幼稚園（年長）



手書きの優しいメッセージと色とりどりの花の折り紙が貼られた“元気が出るプレゼント”を受け取りました。

3月7日、さくら組とたんぽぽ組の園児達が元気いっぱいのダンスや歌を披露。利用者さんからは自然に拍手や「がんばれー」という声援が上がり、利用者さんも園児のみなさんも満開の桜のような笑顔になりました。

いつまでも
げんきでね



太極拳で交流

場 所：デイサービスセンター花の里
ボランティア：雪桜の会

運動不足解消・ストレス解消・健康促進を目的に、いつもとは違った体操を披露してくださいました。

利用者さんからの喜びの声

「いつもの体操より汗が出た」
「癒される音楽で心地よくできた」
「ゆっくりした動きで、いつも伸びないところが伸びた」
「格好がちょっと難しかったけど、頑張っちゃいました」

呼吸を整え…
ゆっくりした動きで…



今後も地域のみなさんとの交流など「つながる・つなげる」企画を計画します

令和 5 年度 事業計画（概要）

スローガン

やさしさと めくもりを あなたに
～人と人がつながり、支え合える地域づくり～



基本理念

1. 尊厳の尊重
2. 利用者本位
3. 自立支援
4. 地域連携と協働
5. 自己研鑽・チャレンジ精神・当意即妙
6. チームワーク・安心安全なサービス
7. 法令遵守



令和 5 年度

目 標

つながる・つなげる ～アフターコロナでのつながりと絆の再構築～

- ◎ 職員が一丸となり、地域のニーズに応えるために“外”へ出て、自分ごととして声を聴く。
- ◎ 提供するサービスや事業、業務内容等を洗い直し、地域、世帯、個人の複合化・複雑化した課題にチャレンジ！

人と人がつながり、支え合える地域づくりを進め、セーフティネットとしての役割が果たせるよう活動します。
また、福祉・介護の拠点として地域福祉課と介護サービス課がワンチームになって地域に貢献します。

住民主体の支え合いのまちづくりの推進

- 生活支援体制整備事業
- 移動・外出支援、生活支援に関する協議・活動創出
- 高齢者の多様な社会参加の場づくり（桃源荘サロン・音楽カフェなど）

地域で活躍する担い手の発掘と住民同士の支え合い、ボランティア活動の活性化

- With コロナ・アフターコロナでのボランティア活動の推進
- 有償くらし安心サポート“福ちゃん”の実施

相談機能の強化

- 信州パーソナル・サポート事業（新）
（生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援事業）
- 関係機関との連携・自立に向けた伴走支援

介護保険法に基づく事業

- 通所介護（デイサービス）
- 訪問介護（ホームヘルプサービス）
- 居宅介護支援（ケアマネジャー）



災害に対する取り組み

- 災害ボランティアセンターのスムーズな開設・運営に向けた準備
- 防災講座の開催や日赤奉仕団の組織化
- BCP（事業継続計画）の策定



情報発信

- 対象者に合わせた伝わる伝え方
- 事業についての丁寧な説明と募金等の使途報告
- 活動の見える化

高齢者および障がい者、家族介護者の支援の促進

- 高齢者・障がい者等の社会参加やつながり作りの支援
- 在宅生活への支援（おむつ給付サービス、家族介護者交流事業など）
- 小布施の恋活事業等

障害者総合支援法に基づく事業

- 生活介護（デイサービス）
- 居宅介護、重度訪問介護（ホームヘルプサービス）

令和 5 年度 資金収支予算（概要）

（単位：千円）

勘定科目		予算額
収入	会費収入	3,171
	寄附金収入	50
	経常経費補助金収入	28,269
	受託金収入	29,712
	貸付事業収入	141
	事業収入	539
	介護保険事業収入	209,577
	障害福祉サービス等事業収入	745
	受取利息配当金・その他収入	206
	福祉基金積立金満期収入	15,768
	その他積立金満期収入	6,012
	前期末支払資金残高	30,888
	収入合計（①）	325,078

勘定科目		予算額
支出	人件費支出	198,389
	事業費支出	51,506
	事務費支出	9,914
	貸付事業支出	140
	助成金支出	8,141
	負担金支出	138
	リース返済支出	1,560
	福祉基金積立金積立支出	11,000
	その他積立金積立支出	11,830
	支出合計（②）	292,618

収支差額（①-②）	32,460
-----------	--------

地域福祉活動の大切な資金に ～社協会費のお願い～

住民のみなさんが、お互いに支え・支えられる地域づくりを目指し、小布施町社協は地域福祉活動を推進しています。
社協会費の募集にご協力をお願いします。

小布施町社協では「誰もが自分らしく暮らすことができる」「人と人がつながり、支え・支えられる」そんな町を目標に地域福祉活動を企画・実施しています。その活動を地域のみなさんと一緒につくりあげていくことを目的として「会員制度」を設け、会員の募集（会費の納入）を毎年 5 月にお願いしています。



日本赤十字社から学ぶ 防災ミニクイズ

Vol.3

話し合ってみよう編



みんなで
考えて
みよう！

日本赤十字社は、国内外における災害救護活動をはじめ、いかなる状況下においても人間のいのちと健康、尊厳を守ることを使命に幅広い分野で活動しています。また災害からいのちを守り、ともに助け合える地域づくりを進めるための、防災啓発セミナーも開催しています。

今月号は各家庭によって答えが異なります。みんなで話し合ってみましょう（答えは 6 ページにあります）

(A)

段階的に発表される防災気象情報にはレベルに応じて対応すべき行動が示されています。

大雨により『高齢者等避難』が発令されました。あなたの家ではどのような行動をとりますか。



(B)

災害が発生したときにどこの避難所に逃げるのか共有しておきましょう。

次の状況で災害が起きた時、あなたが避難する避難所はどこですか？

- ①家にいるとき
- ②学校や職場など外出しているとき



※ 日本赤十字社による防災啓発セミナーをご希望の方や団体は、小布施町社協までご連絡ください。



日赤活動資金の募集

5 月は「赤十字運動月間」です。日本赤十字社は、国内各地の豪雨や地震などによる被災地での医療救護活動、ボランティア育成のほか、国際的な救護活動を行っており、それらの活動のために、みなさんから毎年ご支援をいただいている『日赤活動資金』が使われています。

詳しくは 5 月に全戸配布されるチラシをご覧ください。小布施町社協までお問い合わせください。

活動資金の使い方

未来のために
災害への備え
災害発生時の対応

学校教育、赤十字活動
講習会、物資の備蓄
医療救護、物資配布

その他…

国際活動（ウクライナ人道支援、トルコ・シリア地震他）、救急法等の講習、災害訓練や研修、防災・減災意識の啓発活動など

【寄付方法】

- 申込用紙 赤十字会員は個別にお送りする 3 連の申込用紙を、新規に申し込まれる方は全戸配布されるチラシに付属している申込用紙を小布施町社協窓口（または日赤協賛委員を委嘱されている自治会長さん）へ
- 遺贈・相続 遺言による寄付や相続した財産による寄付
- 口座振替・クレジットカード

※ 日本赤十字社長野県支部のホームページ（右記 QR コード）からも詳しい内容が確認できます。



新コーナーがスタート！
住民のみなさんの「チャレンジ」
を特集します！

わたしの

チャレンジ！



一步を踏み出す お出かけチャレンジ
三輪まつみさん

3月からデイサービスセンター花の里に通い始めた
三輪まつみさん（写真右）。

先に利用していた 7 歳違いの姉の久保田ふみさん
（写真左）と同じ曜日を利用されています。

数年前までは一緒に温泉に行くなど仲良くお出かけ
していましたが、体調不良や入院などが重なり会えな
い日々が続きました。今回、一步を踏み出し花の里に
通い始めたことで 2 年ぶりの再会となりました。

体操も声をかけ合い熱心に参加され「脳トレもゲームも楽しいし、いろんな方とお話しもできる」と喜
び、ご家族からは「前より活気が出てきた」とおっしゃっていただきました。



生きがいは
花の里へ来て、元気で
いること

一步踏み出し、デイサービスに出かけることで、
はつらつとされています。

➡ あなたの「チャレンジ！」を募集中です。下記までご連絡をお待ちしています！

共同募金配分金事業の募集

厚生団体等活動助成金の申請について

助成金を申請する団体は、助成金の内容や申請方法等につい
てご説明しますので、小布施町社協までご連絡ください。

町内の団体等が独自に企
画し、地域のみなさんと一
緒に行う地域福祉の推進を
目的とした事業を応援する
ため、住民のみなさんから
ご寄付いただいた赤い羽根
共同募金の配分金を財源に
助成金を交付します。

対象事業

地域住民（会員以外）と一緒に参加可能な研修会・学習会・ス
ポーツ大会等
※他団体が企画した研修会への参加費、会員のみの交流会費や飲食費
等、またすでに何らかの助成金の対象となっている事業は対象外とな
ります。

対象期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までに終了する事業

募集期限

令和 5 年 5 月 12 日（金）

令和 4 年度配分実績

- ☐ 高齢者の生きがいづくり活動：町シニアクラブ連合会
- ☐ 障がいのある方や高齢者と地域の人々の交流活動：（福）くりのみ園、（福）えがお
- ☐ 地域子どもたちや多世代の人々の交流活動：町商工会青年部
- ☐ 障がい者交流会、社協報福ちゃんの発行など

防災ミニクイズ (5 ページ) の答え



(A) 『高齢者等避難』では危険な場所等から高齢者等は避難を
します。対象になるのは高齢者だけではなく、障がいのある
人、妊婦なども対象になります。家族の中に該当する人がいた
ら、その人だけではなく家族全員で避難します。
高齢者以外も避難の準備を始め、災害情報を確認しましょう。

(B) 地震や水害など、災害に合わせて避難所、
避難場所を考えましょう。
避難所が被災している場合もあるため、逃げる予
定の避難所を 2 つは考えておき、家族で共有した
方が良いでしょう。

～しょうぶ提供のお願い～

デイサービスセンターでは 6 月上旬に
しょうぶ湯を予定しています。

ご自宅で栽培されている方な
どで、提供いただける方はご連
絡をお待ちしています。



発行者	社会福祉法人 小布施町社会福祉協議会（小布施町健康福祉センター内）		
E-mail	o-shakyo@stvnet.home.ne.jp	T E L	026-242-6665
U R L	http://obuse-shakyo.org/	F A X	026-242-6696

社協報「福ちゃん」は共同募金の配分金で発行されています